

OBM マンスリー

2010.12月号 Vol.128

2010 年 12 月 25 日発行

編集・発行

(社)大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル2F

TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145

Eメール info@obm.or.jp

ホームページ www.obm.or.jp

キッザニア甲子園

第3回 ビルメンキッズデーの開催報告

12月9日(木)にキッザニア甲子園にて全国ビルメンテナンス協会主催の「ビルメンキッズデー」が開催されました。今回で第3回を迎えた「ビルメンキッズデー」に、今年も1182名の子供たちとご父兄の方が来場されました。

開場時間午後4時30分には多くの子供たちが入口ロビーに列をなし、嬉しそうに入場用リストバンドを付けて貰っていました。

午後5時、梶山高志近畿地区本部長の挨拶の後、「ゴー!・ゴー!・ゴー!!!」の合図によってスタートし、「キッザニアダンス」と全国協会のパフォーマンス「スリーピングパレード」が場内を練り歩き、会場を華やかに盛り上げました。



キッザニア甲子園は以前にもご紹介しましたが、子供たちが実際の職業を体験できる施設です。パイロットや消防士、またケーキ屋さんや美容室など48の職業が体験できるパビリオンがあり、人気のパビリオンでは1時間待ちが出来てしまうほどです。

「ビルメンキッズデー」では同時に「第4回ビルメンこども絵画コンクール」において「環境大臣賞」を受賞した兵庫県の白神心愛さんの作品を始め、金賞、銀賞、銅賞、キッザニア賞など各地区の代表作品、並びに近畿地区の入選作品105点を展示しました。



なお、大阪協会では大阪府内の入選作品を来年1月下旬頃に大阪協会1階「オービット」にて展示発表会を実施する予定です。

全国ビルメンテナンス協会では「キッザニア東京、キッザニア甲子園」での「ビルメンキッズデー」を通じて多くの方にビルメンテナンス業を知っていただくよう、アピールに努めており、大阪協会も引き続き「ビルメンキッズデー」に後援、協力を致してまいります。

会員皆様にはご理解のほどよろしくお願い致します。

スームアップ

忘れたところに…

警備防災部会の全体集会在11月末に開かれ約70人が参加した。警備関係は大阪府警の池田直人生活安全総務課課長補佐に、消防関係では大阪市消防局の演出悟中央消防指令に講演していただいた。釘宮睦専門委員の「事故事例集・苦情事例集」の活用についての説明もあり、3時間にわたる実り多い集会だった。

とくに、「大規模地震等に対応した消防計画」についての資料は豊富で、消防局の取り組みに対する熱意を感じた。地震などの自然災害のほか、新たにテロによる特殊な災害についても言及している。

資料は、ホテルや地下街、学校、病院、百貨店など、個別の建物について被害想定例などをきめ細かに描いている。たとえば水道管の破裂、エスカレーターの緊急停止、放送設備の断線、照明のダウンなどシナリオは多岐にわたっている。しかし、いざ自分で消防計画を作成するとすると、大規模災害の想定はまるで雲をつかむような話ではないか。地震の規模、発生日の曜日、時間帯、揺れの特徴

などによって被害の大きさはまったく異なる。規模は「震度6強」と想定しても、発生が日曜日の夜なのか、平日の出勤時間帯なのか、そこまで考えただけで被害想定はまったく違ってくる。となると、それに対応する要員の確保はどうするか、複数のパターンを用意する必要があるのか。結局、「災害が起きてみないと対応できない」と投げ槍になってしまいがちだ。

しかし、地下街を歩いていると、いま大災害が起きたらどこに避難したらよいのか、地下街の防災対策はしっかりできているのだろうか、と心配になる。自分では消防計画の作成は難しいと思いつつ、他人にはしっかりした計画を作り訓練もやってほしいと期待する。このような心構えではいざ大災害が到来したときに助かる見込みはなさそうだ。

私の会社では緊急時の対策として、災害が起きたらどれだけの従業員と連絡がつくのかをまず調べた。パート従業員も含め約1000人を対象に調べたところ、携帯メールを使える人が7割だった。業種によって異なり、ビル設備では8割と多いが清掃では年配の方が多かったためか5割と低くなった。

これを元に、緊急時に出勤可能な要員数を割り出すことができる。清掃は連絡がつきにくい、緊急に呼び出す必要性は比較的低い。逆に、オーナーの事業継続計画(BCP)を支援すべきビル設備は早急な対応が求められるが、ここは24時間体制なので夜間でも数人は職場にいるので何とか持ちこたえられる。このように業種別の対応策がぼんやりと見えてきた。次にすべきことも見えてくる。オーナーとの関係をどのようにとるか、連絡の取れない人の安否確認はどうするか。地に足のついた計画・行動指針ができていれば、それだけでも災害の備えにはなると思う。

行政もいきなり完璧な消防計画を求められているわけではない。P(計画)⇒D(行動)⇒C(評価・検討)⇒A(調整・改善)のサイクルで、より良い計画に近づけていくことを求めているようだ。大切なのは、いつ大規模災害があっても対応できる心構えを持つことだと思う。

「のど元過ぎると熱さを忘れる」
「災害は忘れたところにやってくる」
「転ばぬ先の杖」

(理事 内藤修平)

会員企業紹介

社名：株式会社 下村工務店 正会員

所在地：大阪市中央区北浜3丁目3番14号

創業：昭和12年10月20日
TEL 06-6231-2945

社是・モットー：

『どこよりも優れた技術を開発しよう
どこよりも秀でた作業をしよう
どこよりも勝ったサービスをしよう』

自社プロフィール：

親切 (Kindness)・誠実 (Trust)・責任 (Obligation) の3つの要素は、当社の全体を象徴するスローガンとなっています。

品質面での ISO9001 をはじめ、安全衛生面では OHSAS18001 の認証を業界で最初に取得しました。また医療施設での良質なサービスを保証する医療関連サービスマークの認定など、環境や条件面でハイレベルな品質管理を追求しております。

自社PR：

ビルメンテナンスのプロパー企業として、スピーディーに変化する時代に相応しく、長年にわたり培ってきたノウハウ、海外の加盟団体から取り入れる最新情報、独自に開発した美観管理システムなど、最新の管理手法を導入しております。

また『品質と安全』を基本姿勢に、建物の資産価値の維持・向上のため、従業員には十分な教育を施し、力量の満ちたスタッフをお得意先に配置することを基本に業務を運営し、ピカリと光る品質の高いサービスを提供させていただいております。

私たちはビルメンテナンス業務を通じて、建物を利用されるすべての方々に『安全・安心・衛生』をお届けし、お客様にご満足いただけるパートナー企業であり続けます。

社名：ユシロ化学工業株式会社 賛助会員

所在地：本社 東京都大田区千鳥2-34-16

TEL 03-3750-1101
大阪支店 大阪府枚方市池之宮3-5-1
TEL 072-848-7211

創業：昭和19年7月

企業理念：

共々の道

社是：

1. 独自の風格ある製品
2. 間口よりも奥行きのある研究
3. 進歩は常に需要と共に

わが社の自慢：

環境計量士による環境計量測定の実施

新製品のご紹介：

『洗浄と剥離の中間洗浄』という位置づけの、膜厚コントロール型表面洗浄剤。

従来の床用表面洗浄剤よりも皮膜溶解力が強く、黒ずみや深い傷の除去が可能で皮膜の過度な蓄積（ビルドアップ）も防止する。

浸透力と溶解力により洗浄後の表面は滑らかで、ワックスを1層塗布すれば光沢ある床面に仕上がる。また、新開発のアルカリ剤配合により一定レベルで浸透が止まるため、表面はムラになりにくい。さらに、高濃度で使用しても洗浄後の床面はサラッと仕上がる。

容量 18L 希釈倍率 25倍～100倍
(汚れの程度に応じて)



22年度 第8回 理事会

12月1日(水) 協会会議室

1. 一般報告事項

- ①定款改正について承認
- ②臨時総会の日程について

12月17日2時から承認

2. 審議事項

- ①日進装美株式会社退会について

②定款細則改正について

- ③新年会進行について
- ④新年賀詞交換会出席者について

3. 報告事項

- ①全国協会関係
- ②委員会・部会関係

4. その他

大阪労働局からのお知らせ

事業主の皆様へ、労働保険料第3期分の納付期限は

1月31日(月)です。

忘れずに納付して下さい。

《お問合せ・ご相談》

労働保険徴収課 06-4790-6330(代)

労働保険事務組合室 06-4790-6350(代)

または、最寄りの労働基準監督署まで

〔事務組合へ事務委託しておられる事業主の方の納付期限は、上記とは異なります。〕

大阪労働局ホームページ <http://osaka-rodo.go.jp/>

委員会・部会

経営委員会

11月16日(火) 出席者88名 ラマダホテル
平成22年度経営委員会主催講演会について
次第

- ①講演 株式会社テンポクイック今岡重男様
・テーマ『中小ビル経営から発想する新しいビルメン業のスタイル』とは
- ②講演 株式会社ドゥサービス 浜坂秀樹様
・テーマ『私のビルメン業界での25年間～清掃業が産業として認められるように～』
- ③意見交換会

青年部分科会

11月18日(木) 出席者7名 協会展示室

1. 青年部分科会の本年度事業活動内容について
①青年部会全国大会報告
・青年部 全国部会長会議
22府県の青年部会から出席
現状の業界状況を踏まえて業界の中で、青年部として何か出来ることがないかを

全国の青年部レベルで考え、ビルメンテナンス協会などに協力していくことを積極的に行うことを誓う会にしたいと社団法人京都ビルメンテナンス協会青年部渡守会長から決意表明があった。
来年は、鳥取ビルメンテナンス協会主催で行うことを決定。

・フォーラム

22府県から150人が参加し、3つの議題について意見交換を行った。

- ・総合評価制度について
- ・地域連携について
- ・刑余者雇用について

②青年部の活動について

・これから青年部が積極的に委員会や部会への関与を行い、協会活動に参加する。講演会サポート、ビルメンキッズデーなど

- ・青年部の活動を、各委員会部会に係る横断的な活動にしていきたい。
- ・青年部員を今後は増やしていき、活動の範囲を広げる。

・継続議題：新規事業研究

可能性のある事業についての調査、研究
・調査：ビルメン周辺事業への展開を模

索すること

- ・今後ビルメンテナンス会社の発展できる可能性について
清掃、設備管理、警備、修繕などとは少し違う角度からの関連
- ・ビルに関係する業種からの展開
例としてオフィスビルの空室対策、テナントサービス業務など

広報委員会

11月16日(火) 出席者9名 協会展示室

1. 「OBMマンスリー」11月号の編集作業を実施した。
2. 「OBMこみゆにけーしょんず」新春号発行の原稿依頼及び入稿状況等につきその進捗を確認した。
3. 12月9日開催の「ビルメン・キッズ・デー」(於：キッザニア甲子園)への対応につき検討した。

総務友好委員会

11月19日(金) 出席者12名 協会会議室

1. 新年会について

- ①日時：平成23年1月7日（金）11時30分より受付開始、12時開会、14時閉会予定。
 - ②場所：帝国ホテル大阪 3階孔雀の間
 - ③会費：会員1社につき1名は無料、2名以降は1名につき12,000円
 - ④会員企業へ申込み案内送付：11月24日（水）
 - ⑤申込み締切：12月17日（金）
2. ボウリング大会について
- ①日時：平成23年2月18日（金）集合18時、開会18時30分
 - ②場所：イーグルボウル（新大阪）
 - ③エントリー：30組（1チーム4名、120名）定員になり次第締切
 - ④参加費：1チーム（4名）17,000円
 - ⑤会員企業へ申し込み案内送付：23年1月11日（火）
 - ⑥申込み締切：1月28日（金）

公益・契約事業委員会

- 11月17日（水）出席者16名 協会会議室
1. 近畿地区の契約制度の意見交換会
- ①2府4県の方17名が参加
 - ②大阪と京都市以外の自治体はまだ紙入札が主体である。
 - ③大阪以外は予定価格、最低制限価格ともに非公開である。
 - ④和歌山市は最低制限価格の設定もないので最低価格で業者が決まる。
 - ⑤大阪と京都市以外は一般競争入札よりも指名競争入札が多い。
2. 大阪市長への質問状について
- ①昨年12月の陳情による趣旨採択の進捗について市長あてに質問状を出したい。
 - ②最低価格等の改善が行われていないこと。
 - ③清掃業務の検査制度について改善が行われていないこと。
 - ④現状の最低制限価格では最低賃金を割り込むこと等について質問をする。
 - ⑤12月の理事会で審議をしていただく方向で進める。
3. アビリンピックについて
- ①京都が銅賞を獲得
 - ②今年は京都、和歌山、奈良が競技者を出している。
 - ③来年は大阪からも競技者を出したい。
 - ④競技者の訓練教育においてビルクリ部会等の専門部会の協力が必要
4. 「発達障がい者の職業訓練の受け入れ」について
- ①大阪府立芦原高等職業技術専門学校より職業実習生の受け入れ協力の依頼があった。
 - ②2日以上10日未満で10名程度受け入れに協力してほしい。
 - ③障がい者が一般企業に就職するための準備訓練。
 - ④次回の委員会にて大阪府立芦原高等職業技術専門学校の担当者の方より詳しい説明をしていただくことに決定した。

労務委員会

- 11月16日（火）出席者12名 協会会議室
1. 福島県において13日午後2時40分ごろ、窓拭き作業中にゴンドラごと転落、死亡事故について報告があった（資料配布）。
2. 11月25日開催の労務管理セミナーについて定員80名のところ現状申込数は51名。更なる動員要請を行なうことにした（案内を再送する）。
3. K Y T実務講習会が10月29日開催され、定員20名のところ19名が申込、全員出席し、活気のある講習会となった。次回は2月下旬に開催を予定する。
4. 研修旅行について、平成23年1月28日（金）～29日（土）で決定。
5. 平成20年度ビルメンテナンス業労災収支状況の報告があった。

- 6. 10月の業務災害（8件）、通勤災害（2件）について報告があった。

- 11月25日（木）出席者70名 協会研修室
- 労務管理セミナーについて
1. 日 時 平成22年11月25日（木）14時～16時30分
2. 場 所 （社）大阪ビルメンテナンス協会 6 F 研修室
3. 参加者 46社70名（申し込み50社76名）
4. 次第
- ①講演 大阪労働局労働基準部 安全課安全専門官 川村昌光様 テーマ「安全と教育について」
 - ②講演 経営労務コンサルタント 特定社会保険労務士 蛭井弘昌様 テーマ
・「ビルメンテナンス業における災害防止の重点対策―転倒・転落の防止について―」
・「ビルメンテナンス業における業務請負・労働者派遣の安全衛生管理」
 - ③質疑応答

ビルクリーニング部会

- 11月10日（水）出席者18名 協会展示室
- 冊子校正について打合せ。

警備防災部会

- 11月25日（木）出席者15名 協会会議室
1. 全体会議の開催結果について
- ①当部会は96社が入っておられ、全体集会には44社66名が参加された。
 - ②府警本部の生活安全総務課池田課長補佐から、府下の犯罪発生状況、府下における警備業の実態、交通誘導警備業務・雑踏警備業務に関する配置基準とその現状、立入結果と指導取締状況等について詳細に話があった。
 - ③大阪市消防局演出消防司令からは、詳細な資料と冊子・DVD等を準備配布して頂き、消防法の一部改正に関する防火・防災を考慮した消防計画の作成について要領よく話をして頂き、消防訓練のビデオを視聴させて頂いた。
2. 大阪経済の動きから見たビルメンテナンス業について
- ①大阪府内の事業所数 1,528業者、従業者数 66,560人
 - ②対全国比はそれぞれ7.1%、8.7%である。（平成18年事業所、企業統計調査報告）
 - ③売上高は横ばいで、収益は厳しい。
3. その他
- 警備業の質の向上が求められるが、賃金が低下し条件は悪化している等の討論

設備保全部会

- 11月12日（金）出席者16名 ホテルコムズ大阪
- 設備保全部会第7回委員会
1. 各小委員会活動報告（東西情報交流会）
- 東京ビルメンテナンス協会との交流会について説明・打合せ。（管理技術調査研究）
- メガソーラ実証研究施設（北杜サイト）の見学についての説明（研修・見学会）
- 本年に開催した研修会等の報告
- ①「パナソニック電工㈱ 研修会」2月22日
 - ②「三菱電機 分電盤等の省エネ提案に関する研修見学会」3月18日
 - ③「シャープ㈱葛城工場 ソーラーシステム事業本部研修見学会」6月21日
 - ④「中部近畿産業保安監督部近畿支部内の電気事故と安全対策の取り組み研修会」8月25日

- ⑤「総合設備工事会社が取り組む施設整備についての研修会」10月7日（設備保全業務研究）
- ①東西交流会の分科会セッション「設備管理業務の品質向上」について内容説明（環境衛生業務研究）
- ビル管理トラブルの小冊子を作成中との報告
- 40・50ページぐらいになる予定で現在害虫駆除の実例を作成中

講習会等のお知らせ

◆近畿地区本部

- 《建築物環境衛生管理技術者の資格活用の実態調査》のお願い
- 会員各位に所属する建築物環境衛生管理技術者の有資格者の実態を把握し、同資格者の育成の展望を図るとともに、建築物衛生法改正要望への基礎データとするため、標記実態調査を実施することといたしました。先日お送りした送達文書に同封いたしますので、必ずご回答くださいますようご協力をお願いいたします。
- 《平成22年度 建築物排水清掃作業従事者研修(大阪会場)》のご案内
- ①開催日時：平成23年2月4日（金）9時30分～17時00分
 - ②開催会場：大阪科学技術センター
 - ③定 員：90名
 - ④受講料：¥13,000－（テキスト代・消費税含）
 - ⑤閉め切り：平成23年1月28日（金）※詳細は、先日お送りした送達文書でご確認下さい。

◆訓練センター

- 《平成22年度エレベーター閉じ込め救出作業者 基礎研修(2月開催)》受講案内
- ・受付期間 平成23年1月7日（金）～2月18日（金）必着（土・日曜日を除く）
 - ・開催日 平成23年2月25日（金）13時～17時
 - ・受講資格 昨年より緩和されました！
- ※受講資格その他詳細は先日お送りした送達文書の中の受講案内にてご確認ください。複数部希望の方は事務局までご連絡下さい。

◆(財)ビル管理教育センター

- 各種講習会予定
- 貯水槽清掃作業監督者（再）
- 平成23年3月3日（木）～4日（金）
- 於 阪急千里中央ビル
- 受付 平成23年1月13日（木）～19日（水）
- 空気環境測定実施者（新規）
- 平成23年3月7日（月）～11日（金）
- 於 阪急千里中央ビル
- 受付 平成23年1月18日（火）～24日（月）
- 空気環境測定実施者（再）
- 平成23年3月14日（月）～15日（火）
- 於 阪急千里中央ビル
- 受付 平成23年1月26日（水）～2月1日（火）

※平成21年度より（財）ビル管理教育センターへ直接、用紙の請求・申し込みをしていただくことになりました。申し込み期間に提出できるよう、早めに申込用紙を請求してください。（TEL 06-6836-6605）

事務局からのお知らせ

- 退会
- [正会員]
- ・日進装美株式会社
- 平成22年12末日付

さらば「2010年」

監事 伊勢本吉生

今年もあと僅かになった。2010年のス業界は不況経済で大波を諸に被ったが、私達の大阪協会も大きな星の二人の方が亡くなった。一人は丸橋博行氏でありもう一人は植松一良氏である。名誉相談役の丸橋氏は1月に、そして植松氏は6月に逝去された。

大阪協会生みの人である丸橋氏は第2代大阪協会会長に就任、また全国ビルメンテナンス協会設立に貢献され、第2代全国協会長に選任、ス業界高揚にエネルギーを精力的に発揮された。大阪協会会長に就任後は、副会長植松十一郎氏（植松一良氏の親父）と見事なコンビで大阪協会運営に盡力された。特に大阪万博開催時のビルメン業務受託に際しては、社業を自社役員に委ね、お二方は活動に専念された。

私は、元気でられる年輩者でも一人か二人位しか知らないと思う深いエピソードを紙上公開したい。この話はまずほとんどの方がご存知ないだろうと推察する。

万博メンテナンス受託での運営資金問題であるが、当然基金が必要になる。この前までの大河ドラマの坂本龍馬でも、大活躍の資金は土佐藩から出たのではなく海援隊が資金を稼いだのであるが、物事の基金準備の努力は事業の結果評価にかくれ表舞台にはあまり出ない。日露戦争を筆頭にその例はいくつもある。

さて、万博メンテ基金であるが、丸橋・植松両氏が私財よ

り捻出され、運営体制の基幹を築かれたのである。日本開催初めての万博で自信はおありいただろうが、なかなか腹を括れるものではない。私はこの話を昭和60年代に某氏より聞いたが、お二方の太っ腹には大きな感動を受けた。聞いて20数年経た今でも脳裏に強く印象づいている。また、平成5年頃、植松氏御長男の植松一良氏にこの話を打診すれば「その通りだ」の言葉を聞き改めて検証した次第だが、OBM理事会席上のある件で発言し、当時の植松理事に確認すれば事実を表明、と同時、各理事も認識あらたにされたのである。

万博は7,000万人入場の盛況裡のうち終幕したが、海のものとも山のものとも不透明発足時の運営基金準備を決断されたお二方に敬意を表すと共に、その後のKKC誕生に継ぎ、ビルメン資質向上に輪を拡張なさった貢献に感謝し、OBM大事業であった40年強前の秘話を紙上オープンした次第だ。

次に植松一良氏であるが、理事着任年が植松、山田、そして私と同期の3名だけに印象が深い。次世代の全国協会会長を期待され、全国でも所望されていた人格識見の高いお方であっただけに、逝去されたのは惜しまれてならない。人望厚い彼が三途の川を渡りあの世へ行ったのは「チョット」速過ぎた。大阪協会活動は皆様ご存知の通りであるが、私には節目を自覚されていたポイントがあったように思えてならない。

年の瀬にあたり「若くない私」も忘却しないうちに公開しようと思いついたのですが、来年は皆様並みに会員各位の良き年であるようご多幸を祈念しス業界発展を願うものである。

さらば「2010年」御苦勞様でした。除夜の鐘を聞きつつ「合掌」

OBM行事予定

12月	21	火	KKC ビルクリーニング技能検定受験準備講習(～22日)
	22	水	広報委員会 公益・契約事業委員会
	23	木	天皇誕生日
	24	金	
	25	土	
	26	日	
	27	月	
	28	火	
	29	水	
	30	木	
1月	31	金	
	1	土	元日
	2	日	
	3	月	
	4	火	
	5	水	
	6	木	
	7	金	新年会、理事会(帝国ホテル大阪)
	8	土	
	9	日	
	10	月	成人の日
	11	火	
	12	水	経営委員会
	13	木	
	14	金	
	15	土	
	16	日	
	17	月	広報委員会
	18	火	ビルクリーニング技能検定(実技 ～2/3)
	19	水	公益・契約事業委員会
	20	木	

労務委員会 労働災害事故事例(H22年11月度発生分より)

11月度の報告企業数77社、業務災害は8件、1ヶ月以上の休業見込み5件で、墜落・転落2件、転倒4件、その他2件という結果でした。今回は躓きが重傷事故となったケースをご紹介します。

11月30日、午後0時15分頃、客室のベットメイクを終え、部屋を出ようとした時ベットシートが乱れているのに気づき、ベットの方へ行こうとしてドレッサー用のいすの足に躓きシリモチと同時に左手をついたため、左手首を骨折した事例です。

災害の発生原因は、備品に躓き転んだことですが、年齢が64才ということで休業見込が3ヶ月という重傷事故となりました。我々、業界の高齢者雇用におけるリスクの一端が垣間見られた事例です。

おたより紹介コーナー

『おたより紹介』のコーナーへの投稿を募集しています
●題材・・・自由。
協会への提言、季節雑感、詩、短歌、俳句、川柳等々、何でも結構です。
●字数・・・15字×16～19行の間に、本文、会社名、筆者名を全て記入して下さい。

編集雑感

「大掃除について」

年末の大掃除の時期が眼前に迫りつつある。煩忙な毎日からようやく解放される喜ばしき年末の休み、その貴重な日々が大掃除の大役を果たさんが為、既に多忙を極める予定となっている諸氏も多いことであろう。御苦勞様なことである。もちろん私とて他人事ではないが、何処かわくわくするのは気のせいだろうか？ このわくわく感は概して子供の頃によく

感じていたような気がする。普段生活する家がしっちゃかめっちゃになる年末大掃除。重い畳や家具を持ち上げる父親に男としての敬慕の念を生じ、また手際良く障子貼り等をこなす母親を誇らしく感じたり、何より普段は社会という区切りで分断されている家族が大掃除という共通目的の為に、一体となって労働していることに何とも言えぬ幸福感、わくわくした気持ちを感じていたような気がする。また、大掃除の対象となる我が家にも、いつかなくしたものが見つかったり、ふと年月が経ったことを思い知らされた

りしたものだ。掃除を通じて我が家に残した痕跡を発見し、その痕跡をみることで家族と家とが不可分な関係として時を重ねていることを思い知らされる。

労働を通じて家族とも、そして我が家とも一体感が感じられる——それが、年末大掃除の醍醐味である。どうであろう？ このような言い回しで家族を大掃除へと誘うのは？ あるいは、大掃除に乗り気でない我が子達に一訓垂れるのは？ 父としての威厳向上間違いなしである。たぶん。

(G・M)